



■ 計画の名称及び期間

【ハード対策】

- ・ 岡山県における土砂災害対策の推進(防災・安全)
平成27年度～平成31年度(5年間)
- ・ 岡山県における土砂災害対策の推進(防災・安全)重点
平成28年度～平成31年度(4年間)

【ソフト対策】

- ・ 土砂災害防止法の基づく基礎調査の推進(防災・安全)
平成26年度～平成30年度(5年間)

■ 計画の目標

近年増加傾向にある集中豪雨や台風などによる土砂災害リスクの増大に対し、土砂災害対策(ハード・ソフト)の推進を図ることにより、土砂災害に強い地域づくりを進めるとともに、県民生活の安全・安心の確保を図ることを目標としています。

■ 重点化の項目

1. 要配慮者利用施設(24時間滞在型)の安全確保のための施設整備
2. 防災拠点(避難場所等)の安全確保のための施設整備

■ 中間評価結果及び今後の方針

計画の中間年の評価を行いました。各指標に対する状況は次のとおりです。
(ハード整備は、中間年での数値指標はありませんが完了年度を比例案分し評価しています。)
今後も引き続き、最終年度における効果発現目標の達成に向け、事業を推進していきます。

■ 計画の成果目標(定量的指標)に対する評価

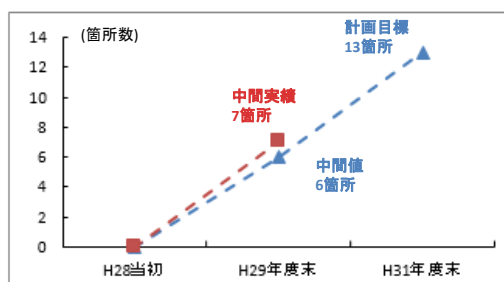
重点計画

ハード対策

一般計画

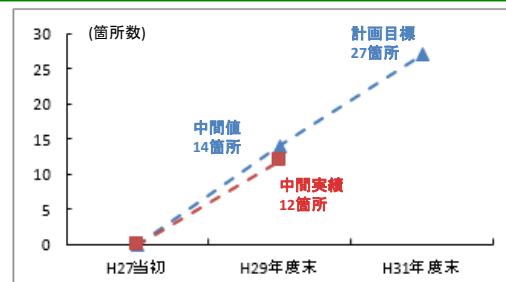
(凡例) ▲ 計画
■ 実績

指標①: 土砂災害危険箇所のうち、重点箇所の安全確保ができる箇所数 (13箇所増)
中間評価: 実績7箇所 (6箇所増)



【中間評価】進捗状況は順調です。

指標①: 土砂災害危険箇所のうち、重点箇所以外の安全確保ができる箇所数 (27施設増)
中間評価: 実績12箇所 (14箇所増)

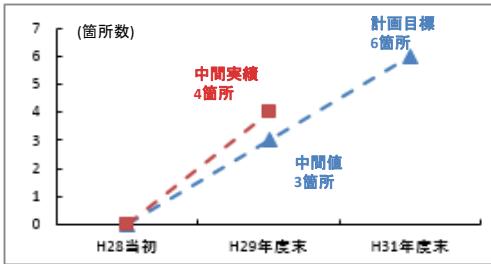


【中間評価】中間値を下回る状況となっていますが、着実にハード対策を推進しています。



重点計画

指標②: 指標①のうち、要配慮者利用施設(24時間滞在型の完全確保ができる箇所数(6施設増)
中間評価:実績4箇所 (3箇所増)

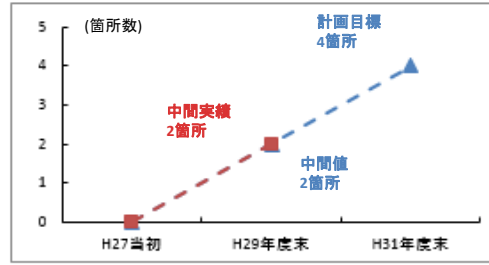


【中間評価】進捗状況は順調です。

一般計画

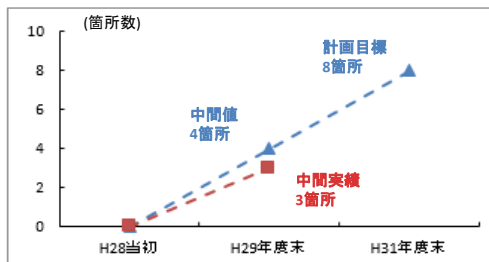
(凡例) ▲ 計画
■ 実績

指標②: 指標①のうち、重点箇所以外の要配慮者利用施設の安全確保ができる箇所数(4箇所増)
中間評価:実績2箇所 (2箇所増)



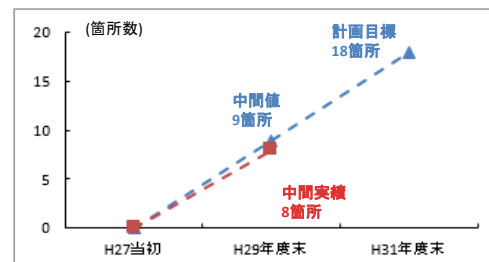
【中間評価】進捗状況は順調です。

指標③: 指標①のうち、防災拠点(避難場所)の安全確保ができる箇所数(8箇所増)
中間評価:実績3箇所 (4箇所増)



【中間評価】中間値を下回る状況となっていますが、着実にハード対策を推進しています。

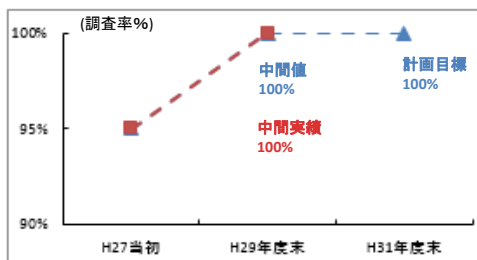
指標③: ①のうち重要交通網の安全確保ができる箇所数(県道以上)(18箇所増)
中間評価:実績8箇所 (9箇所増)



【中間評価】中間値を下回る状況となっていますが、着実にハード対策を推進しています。

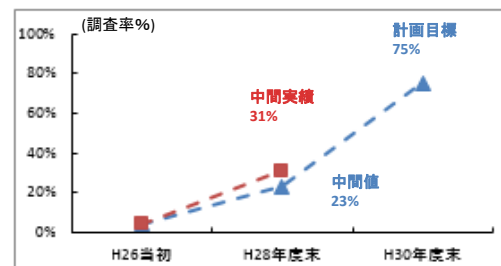
ソフト対策

指標①: 土砂災害警戒区域の調査実施率
95% → 100%
中間評価:実績100% (100%)



【中間評価】予定通り完了しています。

指標②: 土砂災害特別警戒区域の調査実施率
4% → 75%
中間評価:実績31% (23%)



【中間評価】進捗状況は順調です。

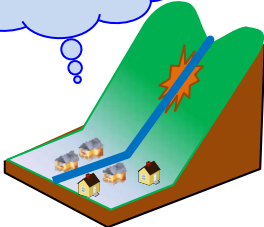


代表的な整備イメージ

【ハード対策】

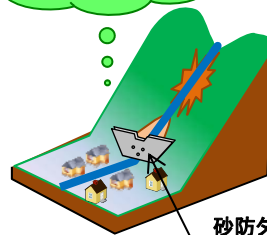
●砂防事業

谷が荒廃して、土石流が心配



整備後

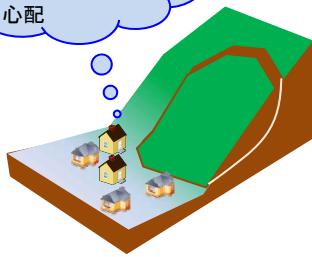
工事が出来てよかった!



<(砂)やそう谷川(苫田郡鏡野町)>

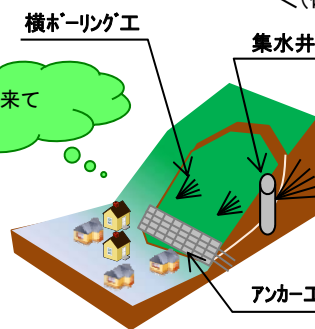
●地すべり対策事業

山に亀裂や段差が発生して心配



整備後

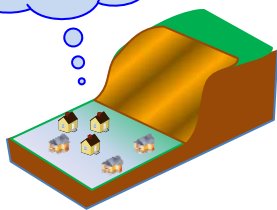
工事が出来てよかった!



<(地)大松地区(高梁市)>

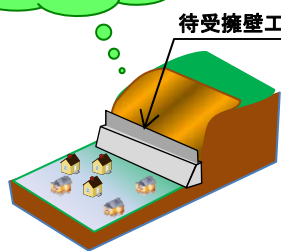
●急傾斜地崩壊対策事業

がけ崩れが心配



整備後

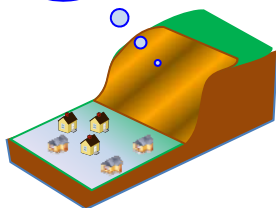
工事が出来てよかった!



<(急)田原地区(美作市)>

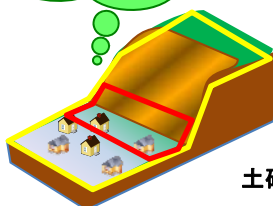
●基礎調査

裏山は大丈夫?

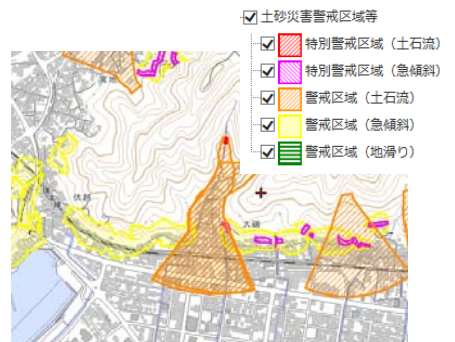


整備後

危険な箇所であることが分かったから、大雨の時には避難する!



【ソフト対策】



土砂災害警戒区域等の指定